

第22回 日本MH大賞 選考結果

日本MH大賞には、MHシステム・機器に関するハード部門と、情報システムに関するソフト部門があり、それぞれが研究開発と改善合理化にわかれます。審査委員会では、応募された内容について、経済性・合理性・独創性・安全性・社会的貢献性・将来性などについて審査を行い、各部門で優秀賞を選出し、その中から大賞を更に選定いたします。

4月13日に開かれました審査委員会で慎重に審査を行いました結果、次の2つが受賞と決まりました。

選考委員長 秋庭雅夫

(日本MH協会 会長 東京工業大学 名誉教授)

■日本MH大賞

該当なし

■日本MH大賞優秀賞

ユーピーアール株式会社

「冷凍食品の輸送過程における温度推移の見える化」

昨今の食の安心安全への意識の高揚～品質管理の徹底が求められ、多くの冷凍食品メーカーが取引先等の要求に応じ輸送中の温度データを提供しているが、温度データが上記基準温度を上回っているケースもあるのが現状。そこで、冷凍食品の輸送及びハンドリング時における製品そのものの温度を遠隔地にいながらリアルタイムに計測、最適温度の制御をし、取引先へ提供できる仕組みを研究開発したもので、コールドチェーンの弱点を解決する実用性と効果が明確で、費用的・環境的に大きな効果が期待できる点が評価されました。



写真:なんモ二端末

◆
■日本MH大賞奨励賞

キャリオ技研株式会社

「CAV～なにこれサーチ(3次元 CAD データを利用した Computer Aided Vision の開発)」

従来、検査対象物を概観形状検査する場合、見本とする画像と比較して検出するため、製品の実物サンプルを作らなければならなかったが、実物サンプルを使用せずに3次元CADデータを活用した外観形状比較ができないかと考え検査対象物のデジタル映像データと3次元CADデータを外観形状比較できる3次元形状検査検索システムを研究開発したもの。MHシステムと連動を可能とする将来性・装置の経済性に大きな効果が期待できる点が評価されました。



写真:CAV～なにこれサーチ